

大学改革シンポジウム

山口学研究プロジェクト

分野別研究プロジェクトテーマ・研究代表者



国際総合科学部特命教授

福屋 利信

台湾の近代化に注いだ
長州人たちの熱情を未来につなぐ



国際総合科学部准教授

杉井 学

ハワイ移民史150年と今後の150年
～「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」～



大学院創成科学研究科教授

脇田 浩二

山口のフィールドジオロジーが
明治から平成の日本を変えた。
そして今、山口のフィールド教育が
新たに世界を変えていく。



教育学部教授

五島 淑子

日英饗応料理から現在に至る
食文化の変遷



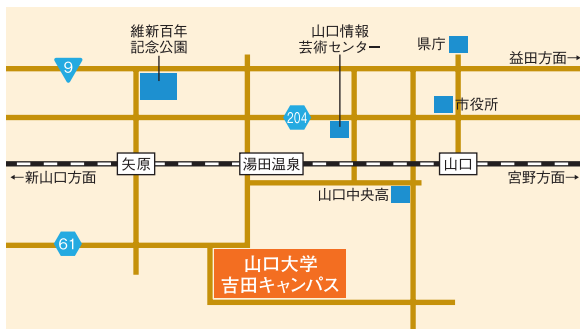
大学院技術経営研究科教授

稲葉 和也

山口県工業の発展史
— 周南、岩国・和木、宇部 —

会場

山口大学吉田キャンパス大学会館
(〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1)



問合せ先

山口学研究センター事務局(山口大学地域連携課内)

TEL : 083-933-5630

FAX : 083-933-5029

明治 150年 から見える

山口県 の 未来 シンポジウム

2018.

11/25日

13:00~17:30

入場無料
定員 200人

山口大学吉田キャンパス大学会館
(〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1)



平成30年(2018年)は「明治150年」を迎える節目の年であり、国は、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくための取り組みを地方公共団体や企業等とともに推進しています。山口県においても、先人たちの「志」や「行動力」を未来の県づくりにつなげていくための取組が進められています。

山口大学では、山口県における自然、文化、歴史、産業、観光、流通、教育等に関する研究を推進するとともに、その成果を活用し、地域社会の活性化に寄与することを目的として平成27年(2015年)12月に「山口学研究センター」を設置し、山口県を持つ様々な地域の特性や課題について、文理融合の視点で検証・研究し再発見するために構築された山口大学独自の学際的な研究である「山口学」の研究プロジェクトを推進することにより、地方創生に寄与することを目標として掲げています。

今年度、山口県の将来のあるべき姿を提案するため、様々な分野における明治以降の150年を総括する「山口学研究プロジェクト～明治150年から見える山口県の未来～」を特別プロジェクトとして立ち上げ、この度、本プロジェクトにおける研究成果を広く発信し、地元自治体や地域との意見交換の場とするため、シンポジウムを開催します。

本シンポジウムが、ご参加される皆様と山口県の将来について考えるきっかけになることを期待しています。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

スケジュール

12:30 受付開始

13:00 開会

13:10 研究紹介①

台湾の近代化に注いだ
長州人たちの熱情を未来につなぐ

13:30 研究紹介②

ハワイ移民史150年と今後の150年
～「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」～

13:55 研究成果報告①

山口のフィールドジオロジーが
明治から平成の日本を変えた。
そして今、山口のフィールド教育が
新たに世界を変えていく。

15:00 研究成果報告②

日英饗応料理から現在に至る
食文化の変遷

16:05 研究成果報告③

山口県工業の発展史
— 周南、岩国・和木、宇部 —

17:05 全体質問

17:30 閉会

単独開催シンポジウム

台湾の近代化に注いだ 長州人たちの熱情を 未来につなぐ

【日時】 平成30年10月21日(日)
13:00～16:00

【会場】 山口大学吉田キャンパス大学会館
〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

【定員】 200人 【入場】 無料

ハワイ移民史150年と 今後の150年

～「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」～

【日時】 平成30年11月10日(土)
13:00～16:00

【会場】 周防大島町 大島文化センター
〒742-2106
大島郡周防大島町大字小松138-1

【定員】 200人 【入場】 無料